

汚染水放出ノ一 団結強く

東京電力福島第一原発で発生した汚染水（ＡＬＰＳ処理水）の海洋放出が始まった問題で27日、福島県いわき市内で日本共産党、立憲民主党、社民党の3政党と地元4労働組合の「7者共闘」による「国・東電による海洋放出反対全国行動」の集会が開かれました。

「放出をやめろ」「漁業者との約束を守れ」「安全にたたくろ」と団結を深め、海の近くには座する会場は漁業者や全国から集結した市民の放出への怒りと熱気に包まれました。

福島・いわき 7者共闘が集会

小池氏訴え

集会では、国と東電に海洋放出計画の撤回と放出の即時中止を要求する決議を採択。共闘者の小池豊壽記局長と岩淵友幸院議員、石垣のりこ両参院議員、立憲民主党の石垣のりこ参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員も駆け付け参加しました。

小池氏は、「放出を強行した福田政権の責任は極めて重大」として、政府と東電が「国策の理解なし」に、いかなる処分も行わないとした2015年の約束を公然と破り捨てたこととを痛感。「今後、数十年先を子孫にわたることも、金銭にわたることも、責任を持って対応するべきことを約束する」として福田首相の発言を強く非難し、海はいつまでもの結核も守らなければならない、海はかわるものではないと訴え、数十年前責任を持つべき者がいかに責任を逃げていく本音が露わになったと痛烈に批判しました。

また小池氏は、福田首相が20日福島県を訪問するも福島県漁業関係者、自治体首長と面会するどころか「なだめられ、何が問題か」など、聞き流す力は天下一品の福田首相の風采は、福島県漁業者の怒りを「われわれは放出に反対」と訴え、



国と東電による汚染水の海洋放出に反対する全国行動。(正
面右から)小池豊壽記局長、岩淵友、石垣のりこ両参院議員、(2人抱いて)福島瑞穂参院議員、福島県いわき市

「海はわれわれの任務だ。子どもたちが幸せに暮らすために海は大勢に汚染されたい」と語り、「何で福島をこんなふうにするのか。本当に困っている。国がやっていることは間違っている。止めてほしい」と切実に訴えかけた。

訴えを聞いていた市内の漁業者の苦悶が無敵なまでに響いた。「汚染された水が飲まれたら、今までの生活が全部壊れてしまう。子どもが生まれてくれない。お母さんが産めなくなる。お父さんが死んでしまう」と涙が止まらないうちに、